

水素社会実現の現場を巡る 浪江町 水素エネルギー視察ツアー

脱炭素社会の未来を、あなたの目で見てみませんか？

福島県浪江町で進む最先端の水素エネルギープロジェクトを巡る特別見学ツアーを開催します。世界有数の再生可能エネルギー由来水素製造拠点や関連施設などの現場を間近で体感。専門スタッフによる解説を通じて、水素社会実現に向けた最新の取り組みや地域の挑戦を学ぶことができます。未来のエネルギーを支える最前線へ、ぜひ一緒に出かけましょう。

視 察 先

①福島水素エネルギー研究フィールド（FH2R）

（出典：FH2R）



FH2Rは世界最大級の水素製造実証施設であり、太陽光発電による電力から水電解装置を用いてグリーン水素を製造することで、水素の大規模利用や需給調整技術を実証し、水素社会の実現と脱炭素化への貢献を目指しています。今回の視察では、概要案内だけでなく、水電解装置内の見学も行います。

②浪江グリーンアンモニア統合制御実証フィールド（NAMICS）

（出典：日揮ホールディングス）

NAMICSは、FH2Rから供給される再生可能エネルギー由来の水素を原料にグリーンアンモニアを製造する実証施設です。

今回の視察では、実証事業の概要を説明頂き、各種設備や再エネの変動に対応した統合制御技術を見学します。

※施設の稼働状況によっては、敷地外からの見学になる場合があります。



③アポロガスの水素への取り組み

（出典：アポロガス）

アポロガスは、見学学習施設「水素チャレンジパーク ナミエナジー」の運営により体験的な学びの場を提供し、水素社会の普及と環境教育への貢献を目指しています。今回の視察では、柱上水素配管や、水素燃料電池カート等を見学します。



④なみえ水素タウン構想

（出典：浪江町）

浪江町では、水素社会実現とゼロカーボンシティ達成に向けて、FH2Rで製造される再エネ由来水素を活用し、「つくる・はこぶ・つかう」の各段階で実証が進んでいます。今回の視察では、同町担当者から水素を核とした地域モデル造りについて説明頂きます。



⑤浪江水素ホテル

（出典：伊達重機）

浪江水素ホテルは、館内のエネルギー全量を水素で賄う世界初のホテルです。今回の視察では、水素を用いた給湯やグリル、電力供給、隣接する水素ステーションからのパイプラインを通じた水素供給を見学します。



1. 開催日 11月25日(水)

2. 集合場所 JR郡山駅前（具体的な場所は、参加者決定後に別途連絡いたします）

※貸切バス利用 ※円滑な運営のため、視察先現地集合での参加はお受けしておりません

3. 参加定員 20名

※申込が定員を超えた場合、調整を行う場合がありますので予めご了承ください

※旅行保険加入のため、参加の方には氏名・住所・誕生日などの情報を提供頂きます

4. 視察行程（集合/出発時間以外は見込みです）

集合（JR郡山駅西口） 8:20 ⇒ 出発 8:30 ⇒ ①・②・③視察（途中若干移動あり） 10:30～12:30

⇒ 昼食@いこいの村なみえ 12:45～13:30

※会場の都合により、参加者様全員「おまかせ和定食」1,650円（税込）をお召し上がりいただきます

※ご理解・ご協力ください

※アレルギー対応等が必要な方は、別途相談を受けます ※昼食代は各自負担をお願いいたします

⇒ ④説明 13:30～14:00 ⇒ ⑤視察 14:15～14:35 ⇒ 郡山駅解散：16:45

5. 募集締切日 11月6日（金）

6. 参加費用 2,000円（バス代として）

7. 申込資格 再エネ研究会会員の企業・団体の方（非会員の場合、入会申請をお願いいたします）

8. 詳細・申込み 下記URLあるいは右QRコードよりお申込み下さい

https://energy-agency-fukushima.com/b_information/13253/

※申込情報は、再エネ研究会（分科会長/事務局）、県次世代産業課、見学先に共有いたします



◆お問合せ先



公益財団法人福島県産業振興センター エネルギー・エージェンシーふくしま
（福島県再生可能エネルギー関連産業推進研究会 事務局）
担当：小野 電話：024-963-0121 e-mail: ono@f-open.or.jp
研究会入会申請：<https://energy-agency-fukushima.com/aboutmember/>

